

秋田建築労働組合 第60回 定期大会



2月20日、秋田建築労働組合第60回定期大会を秋田市「秋田ビューホテル」で開かれた。「組織増勢を力に賃金・単価・労働条件を改善し、魅力あふれる建設産業を実現しよう」をメインスローガンに掲げ、組合員284人（委任状3674通）が参加、2017年度の運動方針を決めた。



開会前の会場に佐々木組合長が会場入り、入念なチェックと大会諸役員へ大会成功に向けて挨拶がありました。



開会前、参加組合員が受付を済ませ会場に入りました。



10時00分、司会を駒根裕哉税金対策部長が務め開会。昨年、運動なかばにして亡くなられた組合員の方々のご冥福を祈り、黙祷。

大会議長に越後谷邦夫（土崎支部）大石良助（角館支部）、各諸役員を選出、大会書記に後藤貴事務局員、秩父亜希子事務局員、諸役員を任命して主催者代表挨拶へ



佐々木澄夫組合長が、県内情勢にふれて、「秋田財務事務局が県内経済は穏やかな持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は穏やかに改善しているというが、今だ建築労働者、職人零細事業主にとってその実感は、ほど遠いものとなっている。

今年度は組合の標準賃金を22,000円として運動を進め、広く県民の理解を求めるとともに自治体交渉を重要課題に掲げ、制度政策要求行動を実施し多くの首長と意見交換を行い、『リホーム推進事業の継続』など組合員の仕事確保に寄与した」とはなし、

「新年度は、賃金問題と建設国保を守る運動が主題となる。とりわけ賃金問題は大きな処遇改善なくして建設労働者の未来はない。平成29年度標準賃金については23,000円として運動に努め、職域防衛の切り札として「全リ協」のメリットを強調しながら加入促進、仕事確保につなげたい」と力強い挨拶がありました。



ご来賓の皆様、ご出席ありがとうございます。



来賓挨拶で三浦一男中央執行委員長が2月5日に死去した当組合顧問佐藤正治前組合長に哀悼の意を述べるとともに、「今年は災害、ケガの無い、より良い年で秋田の皆さんと共に要求実現に向けた運動ができることを期待します」と話しました。



勝野圭司書記長が中央情勢報告を交えて「社

会保険の未加入対策について、国土交通省が5年間進めてきた取り組みが今年3月で期限を迎え、4月以降は公共工場の現場に社会保険未加入者は入場規制の対象になります。今までは事業者単位でチェックしていましたが今後は個人一人ひとりが加入チェックされ、いずれ民間工事にも広がってきます。今後も社会保険未加入対策の強化と共に適正賃金・単価の引き上げ、法定福利費の獲得に取り組んでいきます」「今年秋以降、建設キャリアアップシステムがスタートします。建設労働者一人ひとりが顔写真の付いたICチップカードを所有して、資格や就労履歴を蓄積して技能労働者の処遇改善につなげていくための取り組みで、全建総連としてそれぞれの地域でカードの取得のための取り組みを進めていきたい」と挨拶がありました。



連合秋田 黒崎保樹会長は「地場組合員の生活の底上げ、底支え、中央との格差是正を基本に改善に向けて取り組みます」と力強く挨拶しました。



穂積志 秋田市長は「今後もリフォーム事業に大いにご協力したい」と挨拶がありました。



松田知己 美郷町長は「明治20年に発生したM7.2の直下型地震に耐えた蔵を解体、移築中に解ったことは軸組み工法で造られて蔵は、全ての部材が他者を支え合う組み方で自己の強さのみにあらず他者と支え合うことに強さの秘密がある。組合活動も自分自身の事のみならず、相互に支え合う事に存在の意義がある」と激励の挨拶がありました。



寺田学 衆議院議員は「建設国保予算増額のために引き続き頑張ります」と誓い、挨拶しました。



秋田県労働局 労働基準部長 半田 和義 様



中建国保組合 岩館高志常務理事は「平成27年度秋田建労の特定健診の受診率は63.3%で中建国保全国32支部中第4位、26年度も第4位でした。中建国保の中で第4位に位置している秋田県支部みなさんの取り組みは非常に高く評価できます。

特定健診の結果データから、男女共にBMI（体重を身長で二度割った数値。標準値22が病気に掛かりにくい体型）と腹囲などメタボ関係の値が比較的lowく血糖値も全国平均から見てもさほど高くないですが、中性脂肪の値が少し高く肝機能の悪い人が目立ち高血圧の人がダントツに多く中建国保で男女共に第一位です。

生活習慣から見ると、男女共喫煙率が非常に高く中建国保で第2位。毎日飲酒する人も多く、問診表による毎日2～3合は飲むと答えた人が第2位です。

医療費では、中建国保全体平均と比較して外来受診率は全国平均と同じぐらいですが、症状

別に見ると高血圧症の外来医療費が非常に高い反面、糖尿病の外来医療費が低いです。一般的統計を見ても全国的に塩分摂取量は全国で男性が全国4位、女性は6位です。秋田の特徴として塩分が高くて美味しい漬物、鍋ものが考えられます。

人口動態調査から死亡率を見ると、がんの死亡率、脳血管疾患死亡率が全国第1位です。

中建国保本部保険師のまとめ

生活習慣では、ゆっくり良く噛んで食べる人が多いようで、満腹感が得られメタボの人が比較的少ないのと、血糖値の高い人が少ないので糖尿病を防ぐのに役立っているのかもしれない。

しかし喫煙率が高く、塩分摂取量が多いので高血圧の人が多くなってきています。喫煙は脳梗塞、心筋梗塞、心臓病、がんなどのリスクが高まり、高血圧は脳梗塞とか心筋梗塞、心臓病などさまざまな病気を引き起こす要因になります。血圧の薬を飲んでいるから大丈夫という事では無く、服薬と同時に普段の生活でも塩分控えめと禁煙を心がけ日常的な運動を実践してほしい。今後も特定健診の継続受診をお願いします。」と話しました。



挨拶を受ける執行委員と組合員の皆さん。



支部推薦表彰を受けた皆さん。



第57回全建総連 定期大会表彰を受ける石川和實 前副組合長。



職員30年勤続表彰を受ける武田文慈 事務局長。

午後 13 時再開。議事で、照井昇書記長より平成 28 年度経過報告、千葉直樹財政部長より会計決算報告、菅原清司会計監査より内部監査報告がありました。



平成 28 年度経過報告をする照井書記長



総合共済特別会計の内部共済について質問をする、秋田山王支部 村上建一さん



関連質問で全労済からの支出について質問す

る、牛島支部 猪田功男さん

内部共済について照井書記長は「先月の執行委員会でも同じ質問があり、明記するとしても手続きが。議事録に掲載しているので確認していただきたい」。全労済からの支出について武田事務局長が「全て間違いなく全労済から支払われている」と答弁。拍手で承認しました。



照井書記長より平成 29 年度運動方針案「社会保障拡充と共済制度の前進」「賃金運動と労働条件改善」「自治体交渉と仕事確保」「組織拡大と強化」などの提案があり拍手で承認しました。続いて千葉財政部長より予算案を提案。



今年の 60 周年の記念事業について質問をする、大住支部 小玉政和さん
千葉財政部長は「60 周年記念事業という形で予算化はしていない。特別会計という部分で対応する」と説明し拍手で承認されました。



古屋清太青年部長と青年部員が登壇。青年部長が大会スローガンを声高く読み上げ、提案し拍手で承認しました。



秋田建業の一層の発展・強化を誓い、川辺副組合長の音頭で「団結ガンバロー」を三唱して閉会しました。